

造形実習
Exercises in Plastic Arts

教員名	中西 信洋(なかにし のぶひろ)、飯田 匡(いいだ ただす)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟8階825室 電話:06-6879-7648							
E-MAILアドレス	iida@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	地球総合工学科建築工学コース(2年次)							
単位	1	セメスター				4		
受講条件	特になし。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築設計に求められる基本的な造形感覚の確認と養成からスタートし、実制作を通じたイメージの構築、発展、具現化の手法を学ぶ。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
		○						◎
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育 目標
	課題1 造形の基礎(2回)		現代建築や美術等の造形手法の分析を通して、今日用いられる様々な造形手法について学ぶ。(高度2回)					BH
	課題2 立体構成 (2回)		任意の幾何形体を制作、組み合わせることにより、基本的構成力を身につける。(高度2回)					BH
	課題3 イメージ構成I (2回)		単一素材を用いて各自のイメージを造形、表現することにより、素材の特徴を十分踏まえたうえでその特徴を活かし、イメージと素材性の調和点を探し、イメージを発展させ具現化していく手法を学ぶ。(高度2回)					BH
	課題4 イメージ構成II (3回)		限定された素材をいかに構成するかによって、発想の展開力と構築力を身につける。(高度3回)					BH
	課題5 建築家による独立 住宅のフレームワ ークモデル(3回)		1/50スケールの戸建住宅の模型作成を通して、空間を立体的に把握する能力、および基本的な加工法を身につける。(高度3回)					BH
	課題6 椅子模型の型紙作 成(3回)		1/10スケールの椅子の型紙および模型作成を通して、様々な素材の特性や、複雑な形状の作成手法を身につける。(高度3回)					BH
教科書	特になし。							
参考図書・文献等	特になし。							
成績評価方法・評価基準	Bについては、各課題制作中のディスカッションと課題発表で評価する(50%)。Hについては、提出作品で評価する(50%)。							
オフィスアワー	随時e-mailにて対応する。							
コメント	主体性を持った授業への参加を望む。							